

第2学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識及び技能〕</p> <p>(2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。〔主体的に学習に取り組む態度〕</p>
教科書	国語 2 (光村図書) 新編新しい書写 1・2・3 年用 (東京書籍)
副教材	よくわかる国語の学習 2 (明治図書出版) 単元別 漢字マスター 2 (学宝社) 国語便覧 (浜島書店) すらすら基本文法 (浜島書店) 観点別評価 W プリント (新学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。</p> <p>(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等)</p> <p>(2)情報の扱い方に関する事項 (文章や資料の関係を理解、整理等)</p> <p>(3)我が国の言語文化に関する事項 (伝統的な言語文化や書写等)</p>	<p>各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。</p>	<p>各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。</p>
<p>・テスト (定期、単元、技能等)</p> <p>※技能テスト：音読、スピーチ、書写作品等</p> <p>・授業の活動や発言</p> <p>・指導に対する成果物 (ワークシート、レポート、作品等)</p>	<p>・テスト (定期、単元等)</p> <p>・授業の活動や発言</p> <p>・指導に対する成果物 (ワークシート、レポート、作品等)</p>	<p>・授業の活動や発言</p> <p>・指導に対する成果物 (ワークシート、レポート、作品等)</p> <p>・振り返り</p>

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録 (ワークシート等) は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に入る前には、教材文を繰り返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。 ・副教材等を活用し、復習をすることで、学校で学んだことを定着させましょう。 ・自分の弱みを改善できるような内容や方法を見つけ、自ら進んで学習しましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	見えないだけ (読) アイスプラネット (読) 意見を聞き、整理して検討する (話・聞)	<ul style="list-style-type: none"> 言葉に対する感覚を磨き、語彙を豊かにする。 登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して読む。 人物どうしの関係や、それぞれの考え方を読み取る。 意見と根拠を的確に捉え、根拠の適切さを検討する。
5	魅力的な提案をしよう (話・聞) 枕草子 (読) クマゼミ増加の原因を探る (読)	<ul style="list-style-type: none"> 提案内容について話の構成や表現を工夫する。 作者のものの見方や感じ方に触れる。 文章の構成や展開について、理解を深める。 文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読む。
6	情報整理のレッスン/思考の視覚化 (情) 多様な方法で情報を集めよう (書) 短歌に親しむ/短歌を味わう (読) 言葉の力 (読)	<ul style="list-style-type: none"> 様々な情報を整理し、その関係を図で表す。 収集した情報を整理し、伝えたいことを明確にして書く。 情景などを表す多様な語句に着目し、語感を磨く。 文章を読み、知識や経験と結び付けて考えを深める。
7	メディアの特徴を生かして情報を集めよう/ デジタル市民として生きる (情) 読書を楽しむ/翻訳作品を読み比べよう (読書)	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集の仕方や情報の信頼性、情報の扱いなどについて考える。 本や文章には、さまざまな考え方が書かれていることを知る。 本や文章などを通じて知りえたことを、今後の読書に生かす。
9	ヒューマノイド (読) 字のないはがき (読) 表現を工夫して書こう (書) [推敲] 表現の効果を考える (書) 聞き上手になろう (話・聞)	<ul style="list-style-type: none"> 過去と現在、伏線と顛末の関係を読み解き、登場人物の言動の意味を考える。 随筆の味わい方を知り、日常の読書に生かす。 相手や目的に応じて、伝えたいことが伝わるよう表現を工夫する。 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめ、文章を整える。 話の展開に注意して相手の思いや考えを受け止め、質問する。
10	モアイは語る (読) 思考のレッスン1/根拠の吟味 (情) 適切な根拠を選んで書こう (書) 月夜の浜辺 (読)	<ul style="list-style-type: none"> 意見を裏づけるための、適切な根拠のあり方について理解する。 自分の考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味する。 根拠に説得力があるかどうかを吟味する。 適切な根拠に基づいて、自分の考えを書く。 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。
11	扇的「平家物語から」(読) 仁和寺にある法師「徒然草から」(読) 漢詩の風景 (読) 君は「最後の晩餐」を知っているか (読) 「最後の晩餐」の新しさ (読)	<ul style="list-style-type: none"> 作品の特徴を生かし朗読し、古典の世界に親しむ。 古典の文章を朗読してその表現に慣れ、作品を読み味わう。 漢詩を朗読し、独特の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。 文章の構成における具体と抽象の関係を理解する。 文章の構成や表現の効果を理解する。
12	思考のレッスン2/具体と抽象 (情) [話し合い(進行)] 話し合いの流れを整理しよう (話・聞) 立場を尊重して話し合おう (話・聞) 「自分らしさ」を認め合う社会へ (読書)	<ul style="list-style-type: none"> 具体と抽象の関係について理解する。 話し合いで一定の結論を導き出すために全体の流れを把握し、意見の内容や意見どうしの関係に気をつけて整理する。 立場を明確にして、適切な根拠とともに意見を述べる。 本や文章などを通じて知りえたことを、今後の読書に生かす。
1	走れメロス (読) 描写を工夫して書こう (書)	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的な概念を表す語句が、作品に与える印象を考える。 描写を工夫して、心の動きが伝わるように物語を書く。
2	国語の学びを振り返ろう (話・聞) (書)	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返り、文章の構成や展開について理解を深めるとともに、場面の展開が明確になるように、構成を工夫する。
3	鍵 (読)	<ul style="list-style-type: none"> 比喩を読み解きイメージを広げ、日常世界の新しい見方と出会う。

※書写は、国語科の授業の中で年間20時間程度行われます。以下は、年間を通じた学習目標です。

- ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。
- ・目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書く。